

## 国生み伝説と沼島

記紀神話から～ 神代の昔、まだ天と地がわかれたばかりで、日本の国土が生まれる遙か前のこと、天上は高天原と呼ばれていた。

ある時、そこに住まわれる神々が相談し、国をつくることになった。神々は、その役割をイザナギの命とイザナミの命に託し、国生みの道具として、「天の沼矛」という神聖な矛を授けた。二神は天の浮橋に立ち、そこから沼矛を下界にさし入れ、「コヲロ、コヲロ」とかき混ぜ引き上げると、矛の先からシオがしたたり落ち、それが重なり積もって島となった。この神聖な島を「オノゴロ島(おのころ島)」という。

二神は、この「おのころ島」に降り立ち、夫婦となって日本の国土を造られ、たくさんの神々を生みだすのである。

この島の候補地は日本各地に数多く存在するが、沼島はその中でも「聖地・おのころ島」の最有力候補地だとされている。

## 鞘型褶曲(サヤガタシュウキョク)

平成6年に発見された、1億年前の地球のシワに例えられる、同心円構造(金太郎飴構造)の珍しい岩石。鞘型褶曲でこの規模のものは、ここ以外ではフランスで1カ所発見さ



れているだけで、地殻変動の歴史を知るために世界的に貴重な資料となっている。  
(見学には、チャーターボートが必要)

## 島内1周ウォーキング《約4時間》

沼島の周遊道路は約7.9km。道はほぼ全区間舗装されていて歩きやすい。道端の草も刈られているので、2人が楽に並んで歩ける程度の道幅がある。分岐点には立札が出ているため道に迷う心配はなく、標高差80mほどの急坂が上り・下り合わせて4ヶ所ある。途中休憩をはさんで約4時間で1周できる。コースとしては家族向けからやや健脚向け。尾根の部分を歩く



ので日陰が少なく、帽子が必要。沼島汽船発着場からスタートして歩き始めるとトイレや水飲み場がないのでご注意を!

# 太古浪漫 神々が創った 最初の島 “沼島”

## 沼島八十八ヶ所霊場巡り

明治時代、戦争や伝染病で多くの人が亡くなり、その慰靈のため島内の八十八ヶ所(左記地図①～⑧)にお地蔵様が祀られた。お地蔵様には、四国八十八ヶ所と同じ札所名がつけられ、ほぼ島内一周コース上に点在している。気をつけて歩いてみると、あちらこちらで路傍にひっそり佇む姿が見られる。第一番は神宮寺境内にある。



## おすすめ2時間コース

### スタート 地点の沼島汽船発着場から A

地点のおのころ神社までは約25分。神社へは、100段ほどの階段を上ります。A 地点 B 地点

点までは約12分。この間は道が舗装されておらずかなりのアップダウンがあります。B 地点

には標識あり。B 地点から C 地点までは約12分。見晴らしの良い高台にたどり着きます。

C 地点から D 地点まで約8分。D 地点は、おすすめの絶景ポイントです。向かいに紀州半島が一望でき、目前には上立神岩を見るこ

とが出来ます。D 地点から E 地点までは約12分。E 地点にはあずまやがありちょっと休憩でも。E 地点から F 地点までは約10分。

この間には急な下り坂になっています。F 地点

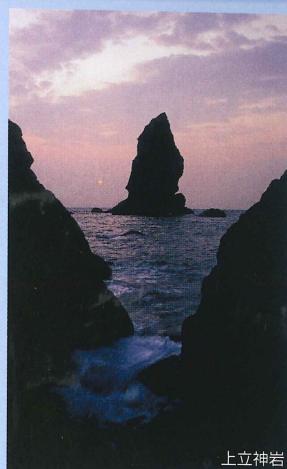
には標識あり。F 地点から スタート 地点へは、約25分。緩やかな下り坂です。

## ハエ・バエ(岩礁)

沼島の裏海岸では、国生み神話のモデルといわれる奇岩を見ることができる。その象徴が天の御柱に例えられる上立神岩。高さ30mの岩が直立して立つ。下に昭和9年の倒壊まで中程に穴があいていた下立神岩。これら男女を象徴する一对の立神岩。その中間に位置する平バ



エはニ神の契りの場、八尋殿(ヤヒロドノ)のモルともいわれる。



## 沼島庭園(伊藤邸の庭)閉鎖中

室町幕府10代將軍、足利義種がつくらせたと伝えられる、県内最古級の池泉観賞式庭園。背後にある王の森を風景に取り込みながら、沼島の特徴である緑色片岩や黒色片岩を利用した、力強い石組みが施されたこの庭は立体感に溢れ、高い評価を受けている。

## 上立神岩コース《約1時間》

島の中央を横断する道路を上りきり、急坂を下ると、短時間で、高さ30mを誇る上立神岩の勇壮で美しい姿を見ることができる。この岩は天の御柱であるとも竜宮の表門であるとも伝えられる奇岩で、打ち寄せる波の豪快さは必見。



あわじ環境未来島構想推進事業  
ふるさと自立計画推進モデル事業  
国生みツーリズム実行委員会